

各校ニュース

米沢工業高等学校（全）

「今年度のトピックス」

米沢工業高校 工業科代表 金子 豊

平成28年度から行われてきた学級数減に伴い、「電気情報類」が従来の各学年2学級3コース体制から、1学級2コース体制となり、今年度の新入生をもって完成年度となった。既存の「機械生産類」と「建設環境類」が2学級3コース体制で、合計各学年3類の5学級8コース体制となった。平成9年度に今の場所に移り、1学年8学級合計24学級でスタートしてから早21年。時代の趨勢で生徒数も職員数も大幅に少なくなってしまうが、今までも、そしてこれからも「質実剛健」であり続けたいと皆思っている。

昨年度は、南東北インターハイや学校創立120周年関連の行事等が目白押しで、生徒も職員も多忙であったが、今年度は各類でのさまざまな取り組みがなされた。中でも躍進が目立ったのは、出場した各種コンテストでの入賞の状況である。

ものづくりコンテストでは、3年の廣谷奈宝子が化学分析部門、県・東北大会第1位で全国大会へ出場した。同部門では3年の安彦若菜も県2位となり東北大会へと進んだ。また建築大工部門県大会では3年の吉田崇人が第1位で東北大会出場、2年の平郷太が2位、3年の笹原優が3位と上位を独占した。電子機器組立部門では3年の塩野隼大が県第2位、電気工事部門では3年の青木匠が県第3位、測量部門では団体が県3位となった。

また晩秋の沖縄で行われた技能五輪全国大会の建築大工部門に、3年の竹田翔太が現役高校生として出場し、大健闘した。さらに同大会には各類の卒業生が県の代表として出場しており、「技の米工ここにあり」と存在感を示してくれた。

子どもの数が減少する中で、生徒・職員が地元の小学校や中学校に出かけての「出前授業」、米沢市内各コミセンの文化祭や道の駅等での展示会などに積極的に出かけ、「米沢の工業高校」をPRした。

進路内定状況も良好で、特に民間企業への就職は大変好調のうちに内定した。

電気関係部会（報告）

事務局校：米沢工業高等学校

本年度の当部会は、4月16日の工業部会理事代表者会直後に第1回の会合を持ち、それぞれの担当などを確認した。詳細な部会は毎年12月に行われる工業部会研究発表会後に行われている。以下はその要旨。

電気関係部会

期 日：平成30年12月5日

場 所：山形県教育センター

参加者：18名（9校）

1 研究主題

- （1）社会が加速度的に変化し、予測困難な時代において、工業高校はどのように資質・能力を育み、社会が求める人材を育成すべきか。
- （2）意欲的に新しい技術・技能の習得に挑戦し、産業の活性化を図る人材を育てるために、その指導内容や指導方法、評価方法及び教員の指導力はどうあるべきか。
- （3）山形県の現状と将来を見据え、地域社会・産業のニーズに応えるため、各工業高校の特色ある教育課程や指導内容および評価方法はどうあるべきか。

2 研究協議・情報交換

（1）各校の取り組み状況

資格取得指導上の問題点と工夫など

（2）各種ローテーションの確認

（3）各種コンテスト及び大会の実施報告

ア ものコン電気工事（村山産業）

イ ものコン電子機器組立（新庄神室）

ウ マイコンカーラリー（羽黒）

（4）実技講習会について（H30まで機械）

